

# TokyoCLの紹介

持橋大地

統計数理研究所

daichi@ism.ac.jp

# こんな会です

TokyoCL

https://sites.google.com/site/tokyoclweb/home

リーダー

## Navigation

### TokyoCL

[TokyoCL勉強会](#)

[メンバー](#)

[目的](#)

[予定とテーマ](#)

[Files](#)

[最近の更新履歴](#)

## Template tips

[Learn more about working with templates.](#)

[How to change this sidebar.](#)

## TokyoCL

TokyoCLへようこそ。TokyoCLは、T2 Meetingを受け継ぐ東京・東日本地区の計算言語学/自然言語処理の研究コミュニティです。

メンバーは誰でも編集できますので、上の鉛筆マークをクリックして編集して下さい。

Google Group (メーリングリスト)は [こちら](#)、Twitterは[こちら](#)です。



サブページ (3): [TokyoCL勉強会](#) [メンバー](#) [戸次さんTalk-20130613](#)

コメント

# TokyoCLの規模

- メーリングリスト登録数: 94人
- 東日本圏の主だった中堅の研究者は、ほぼすべて入っている → 参加すると専門的な意見が聴ける
- 企業の方も多い
- メンバーリストの一部は、Webで公開されています
- 現在、2年間で第9回勉強会まで開催

# TokyoCLの由来

- 東大―東工大勉強会 T2 Meetingの存在  
(～2009年くらいまで?)
- 2011年：持橋が統数研に着任
- 年末くらいの東ロボ関係の忘年会？で、  
勉強会を再開して私が音頭をとった方が  
いいのではという話に  
(その後少し休眠)
- 2015年10月：第1回勉強会～2017年10月：  
第9回勉強会

# 名前の由来

- 奥野さん(@nokuno)が主催されていた TokyoNLP に対し、計算言語学の観点からアカデミックな議論と交流の場にしたい  
=> TokyoCL



# TokyoCLの問題意識

- 各研究室の得意な手法に学生(やスタッフ)が縛られてしまい、問題について本当に適切な手法を使っていないことが多い
  - 例：最適化、分類問題、トピックモデル、データ作り、強化学習
- 適切な共同研究者・指導者とのマッチング
- 勉強会がないと、他の手法について詳しく知る場がない
- 企業の方には、より先端的な研究の雰囲気かわかる機会も重要 (エンジニア向けは多数あり)

# 具体的な活動

- 定期的に勉強会を開催  
第1回～第9回
- 発表者：坪井祐太 (IBM東京基礎研究所),  
塘 優旗 (首都大学東京 小町研究室),  
田然 (東北大), 持橋大地 (統数研),  
徳永拓之 (スマートニュース), 柴田千尋  
(東京工科大), 亀甲博貴(東大), 上垣外英剛  
(東工大), 宮澤彬 (NII/総研大), 熊谷香織  
(お茶大), 村上優樹 (東大鶴岡研), 菅原朔  
(東大相澤研), 若林啓 (筑波大)

# 特に気にしていたこと

- 研究室の繋がり等で主コミュニティに参加しづらかった人を取り込み、研究を発表して名前を知ってもらう



- コミュニティに入りやすくなる・研究に色々な立場からコメントが貰える
- 有名研究室以外の人に参加しやすくなる  
ことが重要



# 問題点・将来の課題

- 最初1回に二人だったが、深く議論できないので1回に一人に
  - テーマが合わないと、参加しづらくなるというデメリット
  - T-PRIMAL勉強会をかなり参考にしている
- 発表者が自分から手を上げづらい問題
  - 主催者が個人的に声をかけることが多かった
  - 自発的に発表を募集できる仕組みを探したい(聴衆が強力なので恐れている?)

# TokyoCL: まとめ

- 先端研究者・学生が交流できる「ガチ系」勉強会
- 中堅研究者・学生どうしの交流の場としてかなり役立った
- Aim4ACL、Aim4EMNLPの母体
- もっと定期的(2月に一度程度)に活動できるようにしたい
- 会場からご希望があれば、ぜひお聞きします